

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	メディアデザイン科	夜・通信	1,176 時間	160 時間	
	グラフィックデザイン科 (現メディアデザイン科)	夜・通信	1,176 時間	160 時間	
	CG マスター科	夜・通信	1,484 時間	240 時間	
	CG アニメーション科	夜・通信	812 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	e スポーツ科	夜・通信	1,344 時間	160 時間	
	イラストレーション科	夜・通信	868 時間	160 時間	
	コミックイラスト科	夜・通信	560 時間	160 時間	
	コミックマスター科	夜・通信	784 時間	240 時間	
	マンガクリエイト科	夜・通信	616 時間	160 時間	
	音響・ミュージック科	夜・通信	644 時間	160 時間	
	アニメ声優科	夜・通信	1,204 時間	160 時間	
	ペット総合科	夜・通信	1,148 時間	160 時間	
	クリエイティブ研究科	夜・通信	482 時間	80 時間	
(備考) 全ての学科で全修とする際の授業時間数を掲載					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2020/kamoku.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2020/riji.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月 31日～2023 年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。授業計画書の公表時期は4月1日とし、学生に対しては4月の授業開始前オリエンテーション時に授業計画を配布して説明する機会を設けている。</p>	
授業計画書の公表方法	www.fsg-college.jp/mushoka/ad/sb
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。A, B, C の評価を合格として単位を認定し、D 評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価においては、客観的指標を設定するために、授業科目ごとの成績評価を100点満点に換算した上で取得点数の平均を求める仕組みを導入している。各学生の平均得点と相対順位を把握する成績評価方法は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科単位を基本として全学生が履修した科目の総得点から平均を求め、「成績一覧表」により学年毎の順位を求める。 ・学生の平均得点と相対順位をもとにした「得点分布表」により、学科学年ごとの成績の分布状況を把握する。 <p>この成績評価方法は半期ごとの集計も可能な方法となっており、「前期」、「後期」、「通年」の成績分布が把握可能な方法である。</p> <p>成績評価の実施については、これらの成績評価の方法により学科学年ごとに実施しており、客観的指標の設定については下記HPにて公開されている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>www.fsg-college.jp/mushoka/ad/seiseki2019.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業に必要な条件については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 <p>を条件としている。</p> <p>卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p> <p>なお、卒業認定に関する規定については、下記HPのみならず、学生の手引きに記載し、学生・保護者に周知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>www.fsg-college.jp/mushoka/ad/nintei2019.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際アート&デザイン大学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2020/bs.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2020/pl.pdf
財産目録	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2020/zaisan.pdf
事業報告書	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2020/jigyohokoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://fsg-college.jp/mushoka/fsg/2020/kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	メディアデザイン科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	308 単位時間 /単位	798 単位時間 /単位	808 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		13人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0/0%)	7人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 前年度在籍がないため進路決定者の該当なし ※ただし、グラフィックデザイン科では WEB デザイン、DTP デザイン、製品デバッカーとして就職している。			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等））前年度在籍がないため検定実績なし サーティファイ WEB クリエーター能力認定試験エキスパート 100% 合格 サーティファイ illustrator クリエーター能力認定試験エキスパート 100% 合格			
（備考）（任意記載事項） *2019 年度グラフィックデザイン科の実績を掲載			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 本年度から学科名変更の為、前年度退学実績なし ※ただし、2019 年度グラフィックデザイン科の退学者は 0 名		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	グラフィックデザイン科 (現メディアデザイン科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	308 単位時間 /単位	798 単位時間 /単位	808 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		7人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0/0%)	7人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） WEB デザイン、DTP デザイン、製品デバッカーとして就職している。			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） サーティファイ WEB クリエーター能力認定試験エキスパート 100%名合格 サーティファイ illustrator クリエーター能力認定試験エキスパート 100%合格			
（備考）（任意記載事項） 生徒実員については2年生のみの人数			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 前年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CG マスター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,850 単位時間/単位	364 単位時間 /単位	686 単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		26人	0人	1人	3人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。
学修支援等
(概要) 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0.0%)	5人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） ゲーム制作会社、WEB制作会社、映像制作会社など			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター能力認定試験ベーシック 100%合格 CGクリエイター能力認定試験エキスパート 91.7%合格 など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
（中途退学の主な理由） 精神的な病から来る体調不良の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CGアニメーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	280 単位時間 /単位	686 単位時間 /単位	948 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		7人	0人	1人	3人	4人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
（主な就職、業界等） 映像業界、アニメ業界、その他は精神疾患により自宅療養			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター能力認定試験ベーシック 100%合格 CGクリエイター能力認定試験エキスパート 83.3%合格 など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 前年度退学実績なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	e スポーツ科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	196 単位時間 /単位	686 単位時間 /単位	1,032 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		4人	0人	1人	0人	1人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ 0.0%）	0人 （ 0.0%）	0人 （ 0.0%）	0人 （ 0.0%）
（主な就職、業界等） 2020年度新設学科の為卒業生無し			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2020年度新設学科の為実績無し			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 2020年度新設学科の為、昨年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	イラストレーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	308 単位時間 /単位	238 単位時間 /単位	1,368 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		9人	0人	1人	5人	6人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	6人 (75.0%)	2人 (25.0%)
（主な就職、業界等） デザイン業界、DTP デザイン、ディスプレイ制作、 その他でプロ希望			
（就職指導内容） 就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリア アカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） サーティファイ Photoshop クリエーター能力認定試験スタンダード 100%合格 色彩検定 2 級 83.3%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 2019 度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラー との連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	コミックイラスト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	224 単位時間 /単位	266 単位時間 /単位	1,424 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		65人	0人	1人	5人	6人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (100%)	0人 (0.0%)	31人 (66.0%)	16人 (34.0%)
（主な就職、業界等） デザイン会社、印刷会社、ゲーム制作会社、WEB制作会社、映像制作会社など その他は病気自宅療養など			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級 87.2%合格 2級 87.5%合格 フォトショップ能力クリエイター認定試験スタンダード 95.1%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 2020年度退学学生無し		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	コミックマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,850 単位時間/単位	252 単位時間 /単位	434 単位時間 /単位	2,164 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	
			2,850 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		12人	0人	1人	5人	6人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 2019年度新設学科の為、卒業生輩出無し			
（（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級 87.2%合格 2級 87.5%合格 フォトショップ能力クリエイター認定試験スタンダード 95.1%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	1人	14.3%
（中途退学の主な理由） 精神的な病による、体調不良の為。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	マンガクリエイト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	224 単位時間 /単位	98 単位時間 /単位	1,592 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		14人	2人	1人	2人	3人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。							
学修支援等							
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0.0%)	4人 (44.4%)	5人 (55.6%)
（主な就職、業界等） 製造、販売、営業職等。その他はプロ希望			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級 100%合格 Illustrator クリエーター能力技能検定エキスパート 100%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 昨年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	音響・ミュージック科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	392 単位時間 /単位	518 単位時間 /単位	1,004 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	18人	0人	1人	5人	6人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。							
学修支援等							
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0.0%)	16人 (84.2%)	3人 (15.8%)
（主な就職、業界等） 音響設営、音響設備運営会社、ブライダル照明、音響ホール管理会社、イベント会社等			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 舞台機構調整技能士 76.9%合格 サウンドレコーディング技術認定試験 100合格%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 昨年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	アニメ声優科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	112 単位時間 /単位	322 単位時間 /単位	1,480 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	17人	0人	1人	7人	8人		
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。							
学修支援等							
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0.0%)	3人 (27.3%)	8人 (72.7%)
（主な就職、業界等） その他は声優プロダクションへ所属を決定した人数。就職はホテル、ブライダル系会社			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接(面談)指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーション検定初級 100%合格 ビジネス著作権検定ベーシック 100%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 昨年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	ペット総合科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,914 単位時間/単位	364 単位時間 /単位	182 単位時間 /単位	1,368 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1,914 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		33人	0人	1人	7人	8人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>（概要）</p> <p>授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>（概要）</p> <p>新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。</p>							
学修支援等							
<p>（概要）</p> <p>検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。</p>							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0.0%)	26人 (96.3%)	1人 (3.7%)
（主な就職、業界等） ドッグトリミングサロン、動物病院、ペットショップ等 その他は就職支援機関にて就労訓練をする			
（就職指導内容）就職研修の開催、個別履歴書添削指導、個別面接（面談）指導、キャリアカウンセラーの面談、新卒応援ハローワークの活用 など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物飼養管理士2級 88.9%合格 トリマー検定1級 100%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 昨年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養課程	クリエイティブ研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	890 単位時間	64 時間	34 時間	792 時間	0 時間	0 時間
			890 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		1人	1人	1人	4人	5人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 授業計画については、学内の検討委員会において検討し決定している。 毎年2月に次年度の共通フォーマットを策定して教員に配布し、3月には授業科目ごとの内容を検討委員会で確認して決定している。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 学習成果の評価については、各学期末の試験の実施及び実習成果の評価の他、教科ごとに出席状況、授業課題としてのレポートや制作物の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験、筆記期試験によって行われ、受験資格として授業実施の80%以上を要件としている。 期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(100~80点：優) B(79~70点：良) C(69~60点：可) D(59~0点：不可)の4段階評価とする。 A, B, Cの評価を合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 新旧・卒業に必要な条件については・年間90%以上の出席率がある事 ・全ての必須科目の単位取得 ・卒業制作発表の合格 を条件としている。 修了・卒業の可否は、毎年2月に実施する「卒業・進級判定会議」において、全学科の全科目について・出席状況 ・期末試験状況 ・修了・卒業制作作品の完成度を勘案して審議し、決定される。							
学修支援等							
（概要） 検定、資格取得のために夏期と冬期長期休暇期間中には約1週間の補講を実施し、合格率を上げていく取り組みを実施。また、学科毎の特色を活かした実践授業を実施する中で、産学官連携授業を積極的に行い、それぞれの現場力・実践力を育成していく。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (100%)
（主な就職、業界等） 1年間で帰国の為就職活動無し			
（就職指導内容） 日本での就職活動の仕方等を指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） マルチメディア検定ベーシック 100%合格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 前年度退学者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 新入生保護者対象のオリエンテーションや個別相談会の実施、スクールカウンセラーとの連携 など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
全学科共通	150,000 円	700,000 円	160,000 円	その他は施設設備費及び施設維持費
修学支援 (任意記載事項)				
【特待生制度】 受験する際に書類審査・面接試験の結果、ランク判定により 5 万円～30 万円を免除				
【進級時特待生制度】 2 年次進級する際に一定の条件を満たした者に対して 5 万円または 10 万円を免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2020/jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会 (加盟校: 26 法人 113 校) により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に点検基準表を策定し自己評価したものを、外部から委員として企業等や卒業生により構成された学校関係者評価委員の有識者により、学校運営に関する点検・評価に対して意見を伺い、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。 学校関係者評価の結果については学校関係者評価報告書としてまとめ、ホームページ等で公表する。報告書の内容については教職員会において周知するとともに、教育課程編成委員会においても説明することで学校としての課題と改善の取り組みを共有し、教育活動や学校運営の改善等に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構	2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	企業等委員
株式会社アイ・シー・オー	2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	企業等委員
国際アート&デザイン大学校 同窓会会長	2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://fsg-college.jp/mushoka/ad/2020/hyouka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.art-design.ac.jp/>